

## 産業廃棄物処理計画書

令和 7 年 5 月 28 日

新潟県知事 殿

提出者

住所 新潟県十日町市八箇甲27番地1

氏名 有限会社 沖建設

代表取締役 岩田 義蔵

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 025-755-5171

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条の9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

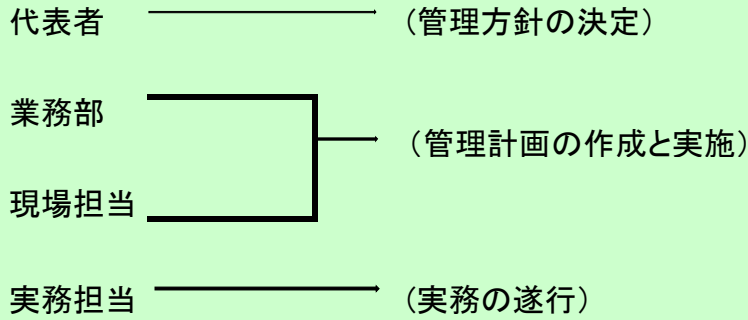
事業場の名称	有限会社 沖建設
事業場の所在地	新潟県十日町市八箇甲27番地1
計画期間	令和 7 年 4 月 1 日 から 令和 8 年 3 月 31 日 まで

## 当該事業場において現に行っている事業に関する事項

① 事業の種類	総合工事業
② 事業の規模	107,393千円
③ 従業員数	13
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	アスファルトガラ→ 破砕 電柱→ 破砕 ガラスコンクリート・陶磁器くず→ 破砕 廃プラ→ 焼却 コンクリートガラ→ 破砕 不可燃混合化合物→ 破砕 がれき類→ 破砕 枕木・木製電柱→ 焼却 ゴムくず→ 焼却 木くず→破砕 コンクリートくず→ 破砕 木くず→焼却 可燃混合廃棄物→ 焼却 水銀灯→ 破砕 生木の幹→ 破砕 生木の枝→ 焼却 生木の抜根→ 破砕

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

① 現状		【前年度 ( 6 年度 ) 実績】							
産業廃棄物の種類		アスファルト廃材	ガラスコンクリート・陶磁器	グラスウール	ゴムくず	コンクリートくず	可燃混合廃棄物	石膏ボード	紙くず
排出量		48.33 t	8.26 t	12.60 t	0.04 t	1,645.38 t	0.71 t	13.40 t	0.13 t
産業廃棄物の種類		生木の幹	生木の枝	生木の抜根	石綿含有産業廃棄物	繊維くず	廃プラ	木くず(焼却)	木くず(破砕)
排出量		90.75 t	58.67 t	25.61 t	1.14 t	3.81 t	5.64 t	2.42 t	36.64 t
		(これまでに実施した取組)							
		特になし							
② 計画		【目標】							
産業廃棄物の種類		アスファルト廃材	ガラスコンクリート・陶磁器	グラスウール	ゴムくず	コンクリートくず	可燃混合廃棄物	石膏ボード	紙くず
排出量		300.00 t	5.00 t	5.00 t	0.00 t	400.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t
産業廃棄物の種類		生木の幹	生木の枝	生木の抜根	石綿含有産業廃棄物	繊維くず	廃プラ	木くず(焼却)	木くず(破砕)
排出量		15.00 t	15.00 t	15.00 t	0.00 t	0.00 t	5.00 t	5.00 t	5.00 t
		(今後実施する予定の計画)							
		工法の改善、梱包材の簡素化							

産業廃棄物の分別に関する事項

① 現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 他の廃棄物が混入しないように保管
② 計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 木くず、廃プラスチック類、がれき類の分別の実施

## 自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

【前年度（6年度）実績】									
① 現状	産業廃棄物の種類	アスファルト ト廃材	ガラスコンクリ ート・陶磁器	グラスウー ル	ゴムくず	コンクリー トくず	可燃混合廃 棄物	石膏ボード	紙くず
	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量								
	産業廃棄物の種類	生木の幹	生木の枝	生木の抜根	石綿含有産 業廃棄物	繊維くず	廃プラ	木くず（焼 却）	木くず（破 砕）
	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量								
(これまでに実施した取組)									
特に実施していない。									
【目標】									
② 計画	産業廃棄物の種類	アスファルト ト廃材	ガラスコンクリ ート・陶磁器	グラスウー ル	ゴムくず	コンクリー トくず	可燃混合廃 棄物	石膏ボード	紙くず
	自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量								
	産業廃棄物の種類	生木の幹	生木の枝	生木の抜根	石綿含有産 業廃棄物	繊維くず	廃プラ	木くず（焼 却）	木くず（破 砕）
	自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量								
(今後実施する予定の計画)									
特になし									

## 自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

【前年度（6年度）実績】									
① 現状	産業廃棄物の種類	アスファルト ト廃材	ガラスコンクリ ート・陶磁器	グラスウー ル	ゴムくず	コンクリー トくず	可燃混合廃 棄物	石膏ボード	紙くず
	自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量								
	自ら中間処理により 減量した産業廃棄物の 量								
	産業廃棄物の種類	生木の幹	生木の枝	生木の抜根	石綿含有産 業廃棄物	繊維くず	廃プラ	木くず（焼 却）	木くず（破 砕）
	自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量								
	自ら中間処理により 減量した産業廃棄物の 量								
(これまでに実施した取組)									
特に実施していない。									
【目標】									
② 計画	産業廃棄物の種類	アスファルト ト廃材	ガラスコンクリ ート・陶磁器	グラスウー ル	ゴムくず	コンクリー トくず	可燃混合廃 棄物	石膏ボード	紙くず
	自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量								
	自ら中間処理により 減量する産業廃棄物の 量								
	産業廃棄物の種類	生木の幹	生木の枝	生木の抜根	石綿含有産 業廃棄物	繊維くず	廃プラ	木くず（焼 却）	木くず（破 砕）
	自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量								
	自ら中間処理により 減量する産業廃棄物の 量								
(今後実施する予定の計画)									
特になし									

## 自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

【前年度（6年度）実績】									
① 現状	産業廃棄物の種類	アスファルト廃材	ガラスコンクリート・陶磁器	ガラスウール	ゴムくず	コンクリートくず	可燃混合廃棄物	石膏ボード	紙くず
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t
② 計画	産業廃棄物の種類	生木の幹	生木の枝	生木の抜根	石綿含有産業廃棄物	繊維くず	廃プラ	木くず（焼却）	木くず（破砕）
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t
(これまでに実施した取組)									
特に実施していない。									
【目標】									
① 現状	産業廃棄物の種類	アスファルト廃材	ガラスコンクリート・陶磁器	ガラスウール	ゴムくず	コンクリートくず	可燃混合廃棄物	石膏ボード	紙くず
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t
② 計画	産業廃棄物の種類	生木の幹	生木の枝	生木の抜根	石綿含有産業廃棄物	繊維くず	廃プラ	木くず（焼却）	木くず（破砕）
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t
(今後実施する予定の計画)									
実施予定なし。									

## 産業廃棄物の処理の委託に関する事項

【前年度（6年度）実績】									
① 現状	産業廃棄物の種類	アスファルト廃材	ガラスコンクリート・陶磁器	ガラスウール	ゴムくず	コンクリートくず	可燃混合廃棄物	石膏ボード	紙くず
	全処理委託量	48.33 t	8.26 t	12.60 t	0.04 t	1,645.38 t	0.71 t	13.40 t	0.13 t
② 計画	優良認定処理業者への処理委託量		8.26 t	12.60 t	0.04 t		0.71 t	13.40 t	0.13 t
	再生利用業者への処理委託量	48.33 t				1,645.38 t			
① 現状	認定熱回収業者への処理委託料								
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量								
② 計画	産業廃棄物の種類	生木の幹	生木の枝	生木の抜根	石綿含有産業廃棄物	繊維くず	廃プラ	木くず（焼却）	木くず（破砕）
	全処理委託量	90.75 t	58.67 t	25.61 t	1.14 t	3.81 t	5.64 t	2.42 t	36.64 t
① 現状	優良認定処理業者への処理委託量	90.75 t	58.67 t	25.61 t	1.14 t	3.81 t	5.64 t	2.42 t	36.64 t
	再生利用業者への処理委託量								
② 計画	認定熱回収業者への処理委託料								
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量								
(これまでに実施した取組)									
委託基準に従って、産業廃棄物を委託できる業者を選定し書面による契約を実施。									

【目標】																	
① 計画	産業廃棄物の種類	アスファルト 廃材	ガラスコンクリ ート・陶磁器	グラスウー ル	ゴムくず	コンクリー トくず	可燃混合廃 棄物	石膏ボード	紙くず								
	全処理委託量	300.00	t	5.00	t	5.00	t	0.00	t	400.00	t	0.00	t	0.00	t	0.00	t
	優良認定処理業者 への処理委託量		t	5.00	t	5.00	t		t		t		t		t		t
	再生利用業者 への処理委託量	300.00	t		t		t	400.00	t		t		t		t		t
	認定熱回収業者 への処理委託料		t		t		t		t		t		t		t		t
	認定熱回収業者 以外の熱回収を行う 業者への処理委託量		t		t		t		t		t		t		t		t
	産業廃棄物の種類	生木の幹	生木の枝	生木の抜根	石綿含有産 業廃棄物	繊維くず	廃プラ	木くず（焼 却）	木くず（破 砕）								
	全処理委託量	15.00	t	15.00	t	15.00	t	0.00	t	0.00	t	5.00	t	5.00	t	5.00	t
	優良認定処理業者 への処理委託量	15.00	t	15.00	t	15.00	t		t		t	5.00	t	5.00	t	5.00	t
	再生利用業者 への処理委託量		t		t		t		t		t		t		t		t
認定熱回収業者 への処理委託料		t		t		t		t		t		t		t		t	
認定熱回収業者 以外の熱回収を行う 業者への処理委託量		t		t		t		t		t		t		t		t	
(今後実施する予定の取組)																	
※事務処理欄																	

第 面 について